



積極的活用をめざした

# 市有林ゾーニング 活用計画

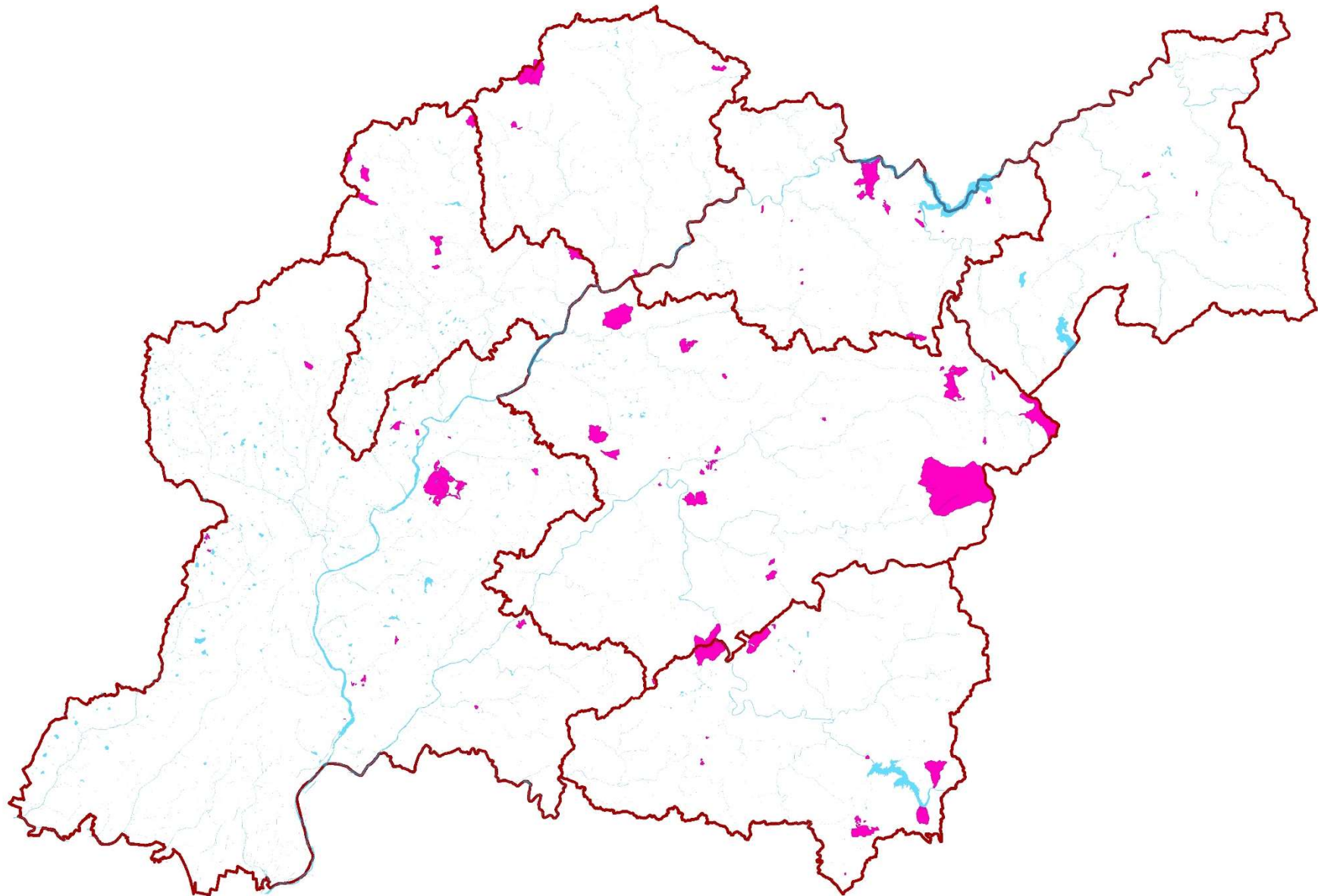
2023.3.15 豊田市 森林課 主査 柴田亮介

# 本発表の流れ

1. 市有林の概要、課題
2. 今回の計画書の紹介

# 1. 市有林の概要・課題

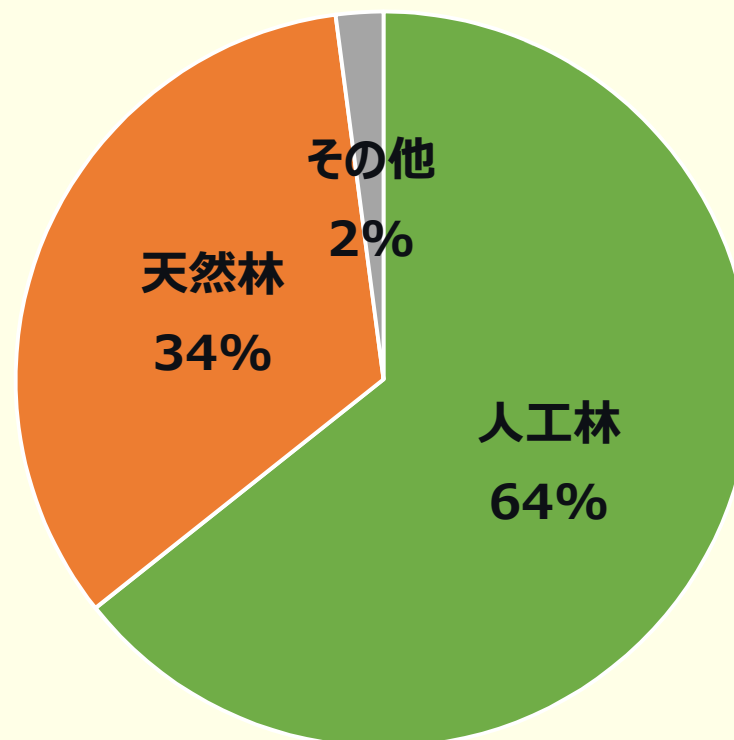
# 市有林の概要



# 市有林の概要

## ■ 66カ所（1345ha）存在

- ・ 豊田スタジアム330個分
- ・ ちなみに市内の  
国有林は5カ所（1,000ha）  
県有林は6カ所（1,800ha）



あなたならどう活用しますか??

# 様々な使い方1

- 木材搬出
- 公益的機能発揮に  
むけた森林整備
- プロのチェーンソー  
技術研修
- 新型林業機械の試行
- 森林ボランティアの活動



## 様々な使い方 2

- 企業の社会貢献活動
- 森林環境教育  
(市民の間伐体験、  
自然観察等)
- 調査・研究

など・・・



# 課題

- バッティングの恐れがある
- 適地が分からない
- 森林整備の計画が立てづらい



## 2. 今回の計画書の紹介

# 市有林ゾーニング活用計画を作成

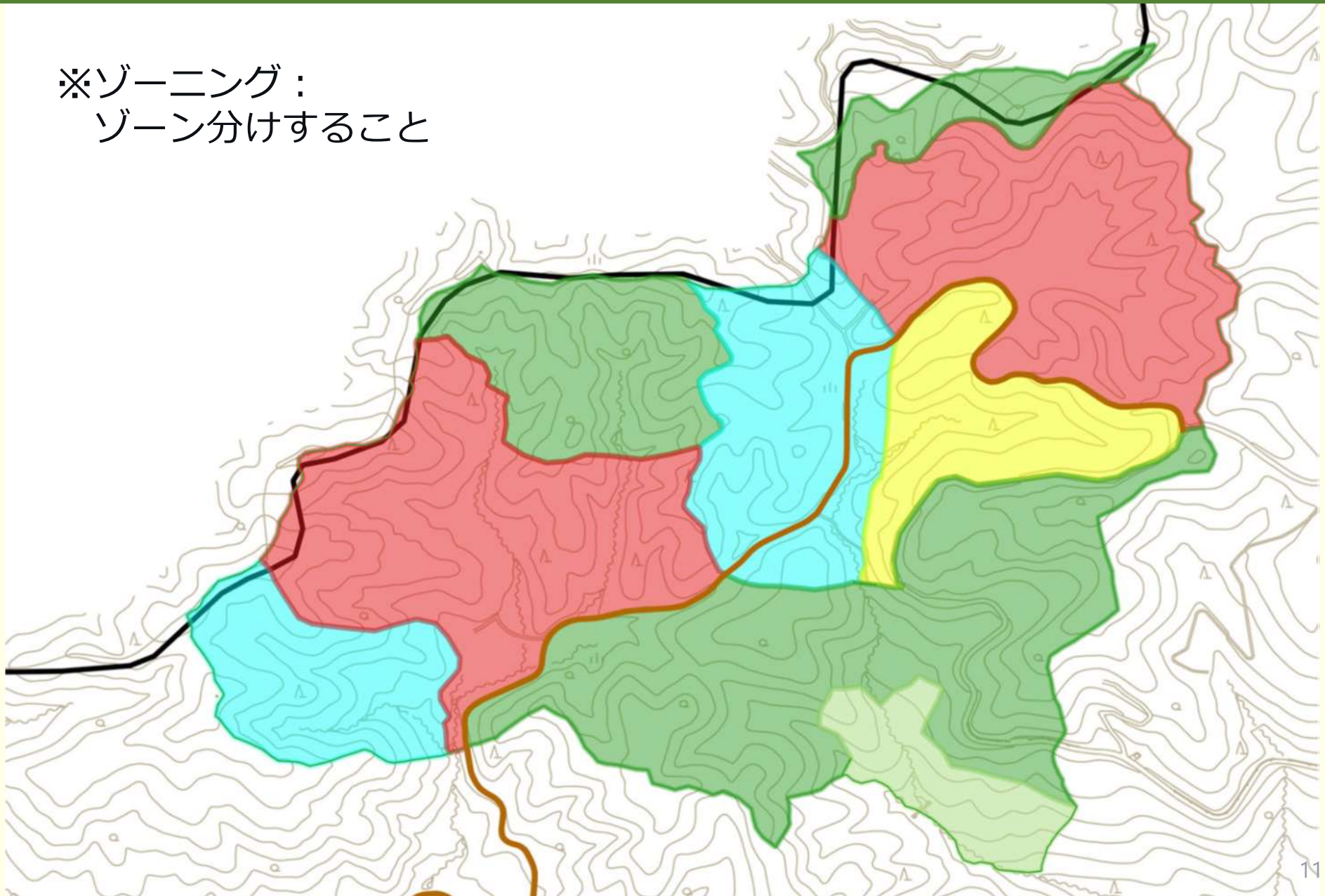
## 市有林ゾーニング・活用計画



豊田市 森林課  
2023年 3月

# ゾーニングを実施

※ゾーニング：  
ゾーン分けすること



# メリット

- 事前に適地が明らかに
- バッティングが避けられる
- 計画的な森林整備計画が立てられる

# 計画書のポイント1

## ■独自のゾーニング区分を作成

ゾーニング区分	場所の条件
① モニタリング研究ゾーン	現調査地、バッファゾーン(緩衝帯)
② 技術実習ゾーン ※プロ用	人工林、アクセス良し、小径木～中径木
③ 間伐体験ゾーン ※ボランティア・市民用	人工林、アクセス良し、駐車スペース有、傾斜緩い、小径木
④ 見本林（過密人工林）ゾーン	人工林、2000本/ha以上、下草無し
⑤ 見本林（針広混交林）ゾーン	高木層に広葉樹が混ざった人工林
⑥ 木材生産可能ゾーン	①～⑤以外、人工林、路網から近い、傾斜緩い、中径木～大径木 など
⑦ 公益的機能発揮（人工林）ゾーン	①～⑥以外、人工林
⑧ 公益的機能発揮（天然林）ゾーン	①～⑦以外、天然林

# 計画書のポイント2

- 個人の山林ではできない(やりにくい)ことを最優先

第1優先

- ・ 技術研修
- ・ ボランティア活動
- ・ 企業活動
- ・ 森林環境教育
- ・ 調査研究

↓上記に適していない場所

黒字が想定

赤字が想定

第2優先

- ・ 木材搬出

- ・ 公益的機能発揮に向けた森林整備

# 各市有林のページ

ナンバー、  
市有林名

所在地

現況、沿革、  
運用方針

図面

2. 大洞市有林

所在地（代表地番） 面積：59.76ha

〒田市大洞町鎌ヶ平876-9 人工林：31.97ha 天然林：25.97ha  
竹林：0 その他：1.82ha

現況および活用の方針等

- 設定の経緯：旧小原村が平成5年に水源保全のために取得した。
- 立地・環境：岐阜県土岐市と接している。林床の広範囲にミヤコザサが繁茂していること、東海丘陵要書植物であるモンゴリナラが点在していること、近年、姿を消しつつあるタコヘビ（泥性温地を好むシダ）が自生していること等が挙げられる。
- 利用の現況：研究施設、駐車場、多様な林相を備えており、様々な活用が可能である。H19には、市民グループ等と共働の森づくりを目指して、「森林活動の森・大洞」とした。

ゾーニング区分

6p

林相ごとの  
面積

# 今後の展望

- 市だけでなく、多様な人材の活動が活発化することが重要

(プロ、ボランティア、企業、行政、大学、マスコミ、市民、、、)

→ 共通の問題意識を持つ人が増える

- 今後は市有林を更に有効活用

→ 多様な活動を促進

→ 計画的な森林整備